

4 ダイオキシン類調査

平成11年7月に公布されたダイオキシン類対策特別措置法において、従来ダイオキシン類と呼ばれたポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)にコプラナーPCBを加えたものが「ダイオキシン類」と定義され、環境基準も設定された。これを受け、県において計画的に一般大気環境、公共用水域、地下水、土壌のダイオキシン類濃度を測定している。

市でも、一般大気環境のダイオキシン類濃度の調査を平成11年度より旧あやめ荘にて行っている。

4-1 平成30年度一般大気環境ダイオキシン類濃度調査結果

(1)調査地点 大倉大気汚染測定局・旧あやめ荘

(2)試料採取期間

下記の日程で7日間連続試料採取した。

夏季 平成30年7月11日～7月18日

冬季 平成31年1月9日～1月16日

※調査回数については、千葉県と同様に夏・冬の年2回としている。

(3)測定分析方法

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省 平成20年3月改訂)」に基づき実施した。

(4)調査結果

一般大気環境の年平均値は、大倉大気汚染測定局が0.033pg-TEQ/m³、旧あやめ荘が0.036pg-TEQ/m³であり、いずれも環境基準値(年平均値0.6pg-TEQ/m³)を下回っていた。(表4-1)

なお、千葉県内の調査地点の平均は、0.044pg-TEQ/m³であった。

表4-1 一般大気環境ダイオキシン類濃度調査結果 単位:pg-TEQ/m³

調査地点	夏季	冬季	平均値	環境基準値
大倉測定局	0.041	0.024	0.033	0.6
旧あやめ荘	0.026	0.045	0.036	

(参考)

1. ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)及びコプラナーポリ塩化ビフェニール(コプラナーPCB)と定義されている。
2. ダイオキシン類の濃度は、各異性体によって毒性が異なるため、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾーパラージオキシンの毒性に換算して合計した毒性等量(TEQ)によって表すこととされている。

4-2 平成30年度公共用水域(水質・底質)ダイオキシン類濃度調査結果

本年度、千葉県が実施した香取市内の公共用水域における、ダイオキシン類濃度測定結果は、下記のとおりである。

- (1) 調査地点 水質調査 大須賀川:黄金橋
 与田浦川:与田浦橋
 黒部川:迎田橋、中央大橋
 清水川:山川橋、清水橋
 底質調査 大須賀川:黄金橋

(2)測定分析方法

水質:JIS K 0312に基づき実施した。

底質:「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に基づき実施した。

(3)調査結果

水質については、環境基準(1pg-TEQ/L以下)を超過した地点はなかった。

また、千葉県内の79地点における測定結果は0.040~1.9pg-TEQ/Lの範囲にあり、全地点の平均値は0.30pg-TEQ/Lであり、過去3年とほぼ同水準であった。

底質については、市内1地点で調査したが、環境基準値(150pg-TEQ/L以下)を超過した地点はなかった。

また、県内の38地点における測定結果は0.042~97pg-TEQ/gの範囲にあり、全地点の平均値は8.5pg-TEQ/gであり、過去3年とほぼ同水準であった。

表4-2 公共用水域(水質・底質)ダイオキシン類濃度調査結果

水質		単位:水質pg-TEQ/L 底質pg-TEQ/g	
河川名	測定地点名	測定結果	環境基準値
大須賀川	黄金橋	0.22 (0.85)	1 (150)
与田浦川	与田浦橋	0.65	
黒部川	迎田橋	0.35	
	中央大橋	0.25	
清水川	山川橋	0.39	
	清水橋	1.0	

()内は底質

4-3 平成30年度地下水質ダイオキシン類濃度調査結果

本年度、市内における地下水ダイオキシン類濃度調査はなかった。

なお、県内では21地点について調査が行われた。測定結果は、0.0088～0.10pg-TEQ/Lであり、全地点の平均値は0.058pg-TEQ/Lであった。いずれの地点も環境基準(1pg-TEQ/L以下)を超過する地点はなかった。

なお、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準を超過した地点はない。

4-4 平成30年度土壌ダイオキシン類濃度調査結果

本年度、千葉県が実施した香取市内の土壌における、ダイオキシン類濃度測定結果は、下記のとおりである。

(1)調査地点 香取市立新島中学校、旧香取市立伊地山幼稚園

(2)測定分析方法

土壌:「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」に基づき実施した。

(3)調査結果

土壌		単位:pg-TEQ/L	
調査地点名	測定結果	環境基準値	
新島中学校	0.79	1,000 pg-TEQ/L	一般環境把握調査
旧香取市立伊地山幼稚園	1.2		発生源周辺状況調査

なお、県内では36地点について調査が行われた。うち26地点は一般環境把握を目的として測定を行い、測定結果は、0.0060～7.9pg-TEQ/gの範囲にあり、平均値は1.9pg-TEQ/gであった。その他の10地点は発生源周辺の状況把握を目的として測定を行い、測定結果は、0.079～87pg-TEQ/gの範囲にあり、平均値は12pg-TEQ/gであった。いずれの地点も環境基準(1,000pg-TEQ/g以下)及び追加調査の目安となる指標値(250pg-TEQ/g)を下回っていた。36地点の測定結果は、0.0060～87pg-TEQ/gの範囲にあり、平均値は4.7pg-TEQ/gであった。

なお、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準を超過した地点はない。